心理学部

Doshisha University Faculty of Psychology

こころを科学する

同志社大学

社会の根底にある
こころの本質を
多面的に解き明かす。

世界がどれだけ発展しても、原点にあるのは人のこころ。ときに心理学は、現代社会を多面的に解き明かす光となります。それゆえ、心理学は今や産業、教育、司法など、実に幅広い分野で活用されているのです。また、本学は90年にわたって心理学を研究し、多様な領域を学ぶ環境と実践的なカリキュラムを充実させています。心理学を学ぶことは、すなわち「社会を見つめる目」を磨くこと。あなたも、社会に活かせる学びを身につけませんか。

Message 学部長挨拶

「来たれ主役！」

このパンフレットを手にしている皆さんは、少なからず人の“こころ”や“行動”に関心を持っている方々でしょう。心理学とはどんな学問なのか、同志社心理ではどんなことが学べるのか、心理学を学んだ先の進路はどうなるのか、このパンフレットを読めばそのあらましはわかっていただけると確信しています。

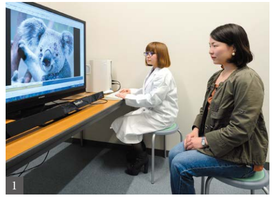
心理学部で学んだからといって全員が心理学と直接関係する職に就くわけではありません。むしろそうした人の方が少ないくらいです。私たちが同志社心理で学ぶ人たちに身につけてもらいたいと思っていることは、単なる知識としての心理学ではありません。心理学の知見を深めつつ、“こころ”や“行動”の問題や法則を解き明かすことを通し観察力・分析力や問題解決力・発信力を培うこと、そしてそれらを現実の社会で生かし活躍してもらうことなのです。

同志社心理では、それを実現するためのスタッフ、カリキュラム、施設を用意しています。この舞台で主役を務める皆さんの登場をお待ちしています。

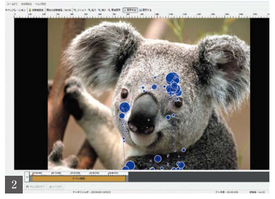
同志社大学 心理学部長 神山（こうやま） 貴弥（たかや）教授

バランスの取れた心理学教育と実践

同志社心理が目指すものは、基礎と臨床（応用）のバランスが取れた教育です。基礎だけの教育、臨床（応用）だけに集中した教育は、同志社心理の教育ではありません。人という複雑な対象を理解し、それを実践するには、さまざまな見方が必要です。



1



2

3

4

1「視線計測装置」（モニターの前に設置）が目の動きを認識し、視線や注視時間を測定しています。「視覚と行動」「錯覚」「心理変化に伴う視線の変化」「色彩や形に対する認識過程の研究」に使用されます。
2「1」の実験結果で、画像に対する視線の動きと注視時間を示しています。 3 マジックミラーやモニターを通し、防音壁で区切られた部屋を観察しています。静かな条件を必要とする研究や心理諸検査の様子を観察・録画します。
4 鏡映描写装置によって、知覚・運動系協応の成立過程を確認し、学習におよぼす集中練習と分散練習の違いを実験しています。

基礎と臨床をつなぐ

「基礎心理学を主たる研究領域とする研究者は、常に臨床（応用）にも眼を向けなさい。臨床（応用）心理学を主たる業務とする実践家は、常に基礎の知見にも眼を向けなさい。」これは同志社心理に言い伝えられてきた言葉です。

Fundamental

基礎

「基礎」研究力とは、科学的な方法論を駆使して、普遍的な知を創出する能力のことを指します。特に心理学では、論理力、観察力、そして分析力を基盤にして、具体的な現象に潜む普遍性を実証的に探求していく能力のことを意味します。ここで得られた普遍性は、時に常識とはかけ離れたものであるかもしれません。しかし、良心に基づいて、臆することなく、それを社会に発信していくことが必要です。なぜなら、そのような行為は、自由を守ることにつながるからです。

身につく能力 ○論理力 ○観察力 ○分析力 ○情報収集力

Applied

応用

「応用」力とは、科学的な方法論を駆使して、社会問題を解決する能力のことを指します。特に、問題となっている場面に即したテーラーメイドな解決方法を提案し、実行・運用していく能力のことを意味します。また、他の専門家と連携しなければならないことが少なくありません。そのような時にこそ、実証に裏付けられた普遍性を踏まえながら、その場で得られたデータに基づいてコミュニケーションを交わすことが必要です。なぜなら、そのような行為は、フェアなコミュニケーションを可能にし、相手を尊重することにつながるからです。

身につく能力 ○問題解決力 ○創造力 ○実行力 ○発信力

Curriculum

実証的視点と高度な知識を身につけ、社会に広く貢献する人材を育む。

学びの特徴

Point 1

伝統の少人数教育

少人数科目を設置し、
きめ細やかな指導を実現

少人数教育を重視しており、学生と教職員の距離が自然に近くなります。
1年次のファーストイヤーセミナーから4年次の演習（ゼミ科目）まで、全学年で少人数科目を設置し、きめ細やかな指導を実現します。

Point 2

研究力の向上

興味ある分野を発見して学び、
研究色も高めていく

2年次からは選択科目Ⅰより、あらゆる心理学を学べるようになります。「神経・行動」「臨床・社会」「発達・教育」と大きく3つの分野を示すことで、自身の興味・関心がどの分野に向いているのか確認することができます。また知識だけでなく、研究力をつけるために、演習や実習を重ねて行い、研究法についても学びます。

Point 3

実践力の修得

こころと行動の解明に必要とされる
実践的かつ専門的な技術へとレベルアップ

1年次と2年次で、実験と臨床心理学の基本的な技能を学びます。
3年次のアドバンストクラス「サイエンティスト・プラクティショナーの基礎」、「心理学実験演習（上級）」、「心理学実験プロジェクト演習」では、実践的かつ専門的な技術へとレベルアップします。

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
必修科目	講義系	心理学概論（1）	心理学概論（2） 心理学統計法（1） 外国書講読（1）	心理学研究法（1） 心理学統計法（2）	心理学研究法（2） 外国書講読（2）	サイエンティスト・プラクティショナーの基礎			
	実習・演習系	心理学実験演習（1） ファーストイヤーセミナー	心理学実験演習（2）	心理学実験演習（3）	臨床心理学実習 心理学データ解析実習		プレ演習	演習（1）	演習（2） 卒業論文
選択科目Ⅰ	A群［神経・行動心理学系科目］			生理心理学　感情心理学　スポーツ心理学　学習心理学　神経科学の基礎　認知心理学　行動分析学　精神生理学　比較認知心理学　食行動の心理学					
	B群［臨床・社会心理学系科目］			臨床心理学　心理療法　交通心理学　パーソナリティ心理学　精神病理学　リスク心理学　健康心理学　実験社会心理学（1）　実験社会心理学（2） 環境心理学　産業・組織心理学　臨床社会心理学　犯罪心理学					
	C群［発達・教育心理学系科目］			発達心理学　臨床発達心理学　家族心理学　乳幼児心理学　学校心理学　高齢者心理学　生徒・進路指導の理論と方法　ヒューマン・モティベーション 発達と学習の心理学　学校カウンセリング					
	D群［共通］	心理学情報機器基礎		心理学史　心理学特論		多変量解析法の基礎　心理学実験演習（上級）　心理学実験プロジェクト演習			

プロジェクト型への応用・探求

実験演習や卒業論文執筆は個人研究ではなく、一部を除いてチームを作ってプロジェクト型で実施しています。協力してデータ収集しているために、研究の水準は非常に高いレベルにあります。また、基礎から応用までさまざまな専門分野のゼミが開講されているので、学生がそれぞれに求める心理学を研究できます。

1年次［基礎］

ファーストイヤーセミナー

1年次の必修科目として「ファーストイヤーセミナー」があります。これは少人数のグループで、大学での学びに関する基本スキルを身につけるプログラムです。授業の後半ではグループで選択したテーマについて、ポスター形式の発表を行います。グループワークを通して、仲間や先生と密にコミュニケーションをとり、“考える力”と相手に“伝える力”を育みます。

2年次［実践］

心理学実験演習

こころと行動の基本的性質や法則性を科学的に探るには、実験が欠かせません。1年次から続く「心理学実験演習」では人の記憶や知覚の仕組み、対人場面での行動、動物の学習メカニズムなどに関する実験を実施します。目に見えないこころのプロセスをどのように客観的に測定し、どのように報告するのかなど、サイエンスの手法を段階的に修得します。

3年次［応用］

心理学実験演習（上級）

心理学実験演習（上級）では、自分の興味や卒業研究の計画に応じて、さらに高度かつ実践的なスキルを修得できます。例えば乳幼児の研究などに役立つ行動観察の技術を学ぶクラスや、コンピュータを利用した心理学実験の方法を学ぶクラス、ヒトの心拍数などの生理反応を測定するための解析法を身につけるクラスなどが選択できます。

4年次［探求］

卒業論文ポスター発表

4年次は学びの集大成となります。演習（ゼミ）で学生自身が興味のある分野について卒業論文のテーマを選択し、大学生活を通して学んできたことを活かして、卒業論文を完成させます。完成した卒業論文は教員や学生、またご父母の前でポスター発表を行います。論文作成の中で培われた知識やスキル、経験は将来必ず社会で役立つことでしょう。

目指すべき人材（物）像

心理学部心理学科では、観察・分析力、論理力、発信力の育成を基盤に、実証的な姿勢で「人のこころ」にアプローチできる人材の養成を目指している。キリスト教主義の精神に基づく教育環境の中で培われる高度な専門知識と技能は、心理学の専門家として、また社会のさまざまな分野で、良心をもって活躍する有為な人材を育成するための素地となる。

アドミッション・ポリシー

心理学部では、基礎・応用心理学に関する知識や技能を体系的に学び、習得した知識や技能を適切に運用するうえで基盤となる論理と実証（データ）を重視する姿勢を身につけることを目的としています。すなわち、「人のこころ」に対して科学的にアプローチできる能力を活かし、心理学の専門家として、また社会のさまざまな分野で問題解決や目標達成に貢献できる人物の育成を目指しています。

ディプロマ・ポリシー

知識・技能	こころと行動の仕組みとその機能を解き明かすための実証的な研究法を身につけ、それによって得られた専門的知識を実社会に活かすための方法論を理解できる。
思考力・判断力・表現力	根拠となるデータに基づいて論理的に思考することにより、実証的な姿勢でこころと行動の問題にアプローチするとともに、その成果を的確に発信できる。
主体性・多様性・協働性	こころと行動を科学的に探求し、その知識を核とした幅広い教養を活かした他者との協働により、社会のさまざまな領域において貢献できる。

心理学部の求める学生像

1
心理学部では、基礎心理学と応用心理学のバランスが取れた教育を通じて、こころと行動の仕組みと機能に関する知識と技術の習得を目指しています。そのため、文系・理系を問わず、幅広い基礎知識が求められます。特に、一般的教養知識の習得や心理学の専門知識を身につける上で必要となる日本語と英語の読解能力・表現能力を備えている学生を求めています。

2
自らの主張や論理を組み立てる力、現象を客観的に観察・分析する力、そして、得られた実証（データ）について主体的に発信する力に優れた学生を求めています。これらの能力は入学後に培われますので、すべてを兼ね備えておく必要はありませんが、論理と実証を基礎とした科学的な心理学の探求に強い関心を持つ人物こそ心理学部の求める人物像です。

3
入学後は、同志社心理の伝統である「少人数教育」に基づいて、教員と学生はもちろん、学生同士もしっかりと向き合って学び合う機会が設けられます。そのため、他者と協働して社会における問題の解決を試みる行動力を持ち、社会のどのような領域でも活躍できるような幅広い関心やコミュニケーション能力を備えた学生を求めています。

履修しておくことが望ましい教科・科目と水準

英 語
英語の基礎学力やコミュニケーション能力は、大学において広い範囲で一般的教養知識を深めるために必要です。また、心理学部では、心理学の最新の知識を得るために外国書や英語論文を読み込む機会も多くあることから、入学時より高い英語力が求められます。国際社会に貢献する人材となるためにも、高い英語の基礎学力や優れたコミュニケーション能力が求められることになります。

国 語
国語の基礎学力は、講義やゼミで文献を読んだり、実験レポートを提出したりする際に必要な能力です。論文で書かれていることを正確に読み取り、自らの実験・調査で得られたデータについて正確な解釈を行うためには、高い国語の運用能力が求められます。また、結果を的確かつ正確に発信する表現力にも国語の能力が求められます。このような読解能力と表現能力は、社会のどのような領域においても根幹となる重要な力になります。

地理歴史・公民
現代社会で発生する多様な問題への感度を高め、理解を深めるには、歴史的な視点と社会情勢に関わる基礎知識を有していることが望まれます。このような知識や感性は、キリスト教主義を原点とした国際的な視点と結びつきながら、現代社会の諸問題を把握し、その解決を目指す行動力につながっていきます。

数 学
心理学においては、統計学の手法や知識が求められます。必ずしも、これらを入学前に習得する必要はありませんが、数学的な論理的思考力を身につけておくことが望まれます。客観的な観察力や分析力の基盤といえる統計学の手法や知識は、メーカー、金融、商社、サービス、情報、公共など幅広い業界で有益なツールとなるでしょう。

理 科
心理学の一般知識には、脳・神経科学、生理学などに関する分野が含まれます。理科、特に生物についての一定の基礎学力を有していることが望まれます。生物に関する知識は、物事の原理・原則を見抜く力、生命に対する倫理観を培うとともに、健康、保健、福祉、医療などの分野で活躍するための応用力につながります。

多種多様なゼミでの研究で こころに対する見聞を広めていく。

神山 貴弥ゼミ

子どもが学校に適応するための支援方法を探究する。

子どもの学校への適応を研究している神山先生。個人に対してというよりは集団全体に働きかける中で、一人ひとりの子どもの社会的能力を高め、不登校やいじめなどの問題行動の予防につながる支援方法を探求しています。ゼミには、教員志望の学生だけでなく、さまざまな進路を目指す学生が在籍します。

それぞれの自主性を重んじ、教育心理学分野に限らず、自分の興味・関心に応じたテーマで卒論研究に取り組んでいます。

Key Words　学校適応 / 予防的取組 / 非認知スキル

藤岡 勲ゼミ

異なる文化を持つ人々を理解する喜び。それはグローバル社会に限らず身近に存在する。

グローバル化が進み、多様性と複雑さが増す現代社会。そんな社会の変化に対応して生まれたのが多文化間カウンセリングです。文化的背景が持つ影響に着目しつつ、実践的課題に取り組みます。

異文化というと宗教や民族を連想しますが、性別や年齢などの違いから、身近なところでも異文化との接点は数多く存在します。ゼミでは、グローバルな問題から身近な問題まで幅広いテーマを扱い、考察します。

Key Words　多文化間カウンセリング / グローバル化 / 異文化理解

竹原 卓真ゼミ

生活に密接に関わる認知心理学。日常の興味関心が研究テーマにつながる。

認知心理学を専門とする竹原ゼミでは、ソーシャルネットワークサービス（SNS）における言語の問題や人間の顔や魅力に関する実験研究など、さまざまなテーマの研究が行われています。「何気ない疑問や興味の延長に研究がある」という先生の考えのもと、学生はそれぞれ興味のあるテーマを選びます。

また、ゼミで大切にされているのは「議論」。学生同士の意見交換や会話の中からアイデアを見つけ出し、新たな発見につながっています。

Key Words　コミュニケーション / 顔認知 / 感情

興津 真理子ゼミ

生きていく上で欠かせない家族について心理学という視点から見つめなおす。

興津ゼミでは「家族」をテーマに親子や夫婦などの関係を心理学的に考察しています。人間にとって最も身近な存在である家族。家族との関わりを学ぶことで、より広範囲の人とのコミュニケーション能力が高まります。また、将来家庭を持った時の参考にもなります。

現役のカウンセラーでもある興津先生。ゼミでは母親のように優しく、時に厳しく、親身になってアドバイスしてくださいます。

Key Words　親子 / 信頼関係 / 夫婦

3つのコースより
Pick Up

企画力や実践力、ディスカッション力など、さまざまな力を身につける。

自由に履修できる3つのコース

本学部では学生の視野を広げるために、3つのコースを設置。それぞれのコースで、複雑なこころの仕組みを探るための多様な専門科目をそろえています。卒業までに全てのコースから3科目以上履修することが求められます。また、1つのコースから6科目以上履修するとコース認定が受けられます。

コース名	内 容	卒業研究のテーマ（例）
神経・行動心理学コース	近年めざましい発展をみせている最新の脳科学や行動科学を学びます。心と行動の神経・生理的な基盤と行動そのもののメカニズムを中心に学習し、心と行動について生物学的・行動科学的に理解する能力に特に秀でた人材となることを目指します。	■ 空間認知における脳のはたらき ■ ポリグラフ検査における情報既知性についての検討 ■ 活動性拒食症のラットにおける食事の予期の効果
臨床・社会心理学コース	心の問題の解決を目指す臨床心理学と社会における心と行動の理解を目指す社会心理学を学びます。心の問題を解決する能力と心理学の知識を対人関係の中で活かす能力に特に優れた人材となることを目指します。	■ ストレス条件下における身体反応と感情 ■ うつ症状の臨床行動分析 ■ 返報性の観点からみた試供品配布の効果
発達・教育心理学コース	生涯発達的な観点から心の発達と教育に関するメカニズムおよびその支援の基礎知識を中心に学びます。発達や教育に関連する問題について適切な理解と支援を行う能力に特に秀でた人材となることを目指します。	■ 自由遊び場面における乳児の人見知り行動 ■ 目標が課題達成に及ぼす影響 ■ 児童・生徒における異年齢交流の教育的効果

神経・行動

生体の反応から、心の動きを読み取る。

心と身体、相互の関係の理解を深める演習です。一般的に“嘘発見器”として知られているものに類似した装置を使用し、質問をされた参加者の「心臓の鼓動が速くなる」「汗をかく」「顔が赤くなる」といった反応から、心の動きを推測します。参加者に電極を取り付けて心電図を測るなど、実際の犯罪捜査などで活用されている方法を学生自ら体験できるのが魅力です。もちろん、単にデータとして数値を測定するだけではありません。得られた結果の読み取り方などについても議論を行い、心身の関係について理解を深めます。また、さまざまな装置を使用した経験は、学生が論文を執筆する際に、実験の選択肢を増やすことにもつながります。

臨床・社会

検査スキルに加えて、適切な接し方も学ぶ。

写真では『ウェクスラー式知能検査』に取り組んでいます。この検査は幅広い年齢を対象とすることができます。その中でも成人向けの『WAIS-III』を実施しました。「絵画完成」「積み木模様組み合わせ」といった動作性検査と、「単語」や「算数」といった言語性検査から構成され、言語性IQ（理解力や記憶力など）と動作性IQ（図形や記号の処理能力など）、そしてそれらを総合した全検査IQに分けて知能水準を算出することが可能です。
また、演習では実験者だけでなく参加者の立場も経験するので、検査のスキルに加えて参加者への接し方なども修得できます。学内の演習で経験を積み、学外での検査にも挑戦します。

発達・教育

信頼関係を築きながら、楽しませる術を磨く。

さまざまな心の側面を測る心理検査（知能検査、パーソナリティ検査、投影法）について学びます。写真で行われているのは、子どもを対象とした『田中ビネー知能検査』です。ロールプレイを行って参加者となる子どもの知能指数を算出し、得られた結果を解釈・分析する練習も行います。
子どもを対象に検査を行う場合、特に重要なのが参加者とラポール（相互の信頼関係）を築きながら楽しんでもらうこと、そして手際よく正確に進めることです。この演習では、その両方を修得することができます。他にも多様な検査を行うので、心理検査に興味がある人や、臨床心理士を目指している人に適した実習です。

Pick Up Topic

心理学の視点で『インターネット』に迫る。

メールやブログ、SNSなど今や私たちの生活に欠かせないインターネット。
便利なツールなのは言うまでもありませんが、注意が必要な部分があることも確かです。
ここでは心理学とインターネットの関係に迫ってみましょう。

「顔文字の印象を科学する」

KEY WORDS

感情伝達促進効果
電子メールのメッセージ内容が嬉しいことだった場合、嬉しさを表す顔文字を付けると、相手に嬉しさが増幅されて伝達される現象です。メッセージ内容が怒りや悲しみに関するものである場合は、そのような増幅効果は消失します。

顔文字による勘違いの例
ある女性が事件に巻き込まれました。その女性は電子メールで友達に助けを求めたのですが、なんと顔文字を付けてしまいました。その結果、友達は緊急性が低いと受け止めて、被害者の救出が大きく遅れてしまいました。

Google効果
私たちはインターネット上の検索エンジンを使ってさまざまな情報を簡単に検索することができます。しかし、そのような情報はすぐに忘れてしまうことが実験によって明らかになりました。いつでも検索できるという考えが忘却に関連しているのかもしれませんね。

顔文字を電子メールのメッセージに付けて送信すれば、より正確な感情を相手に伝達できますね。実際に、1文のメッセージに対して、顔文字を付けない条件、顔文字を1つだけ付ける条件、顔文字を3つも付ける条件を設定し、メッセージの受信者がどのような印象を受けるかが実験されました。その結果、顔文字を1つ付けると社会的で友好的だと感じられましたが、3つ付けると逆に社会的ではないと判断され、友好性も下がりました。つまり、付け過ぎると逆効果になることがうかがわれます。

「ネット依存を改善する」

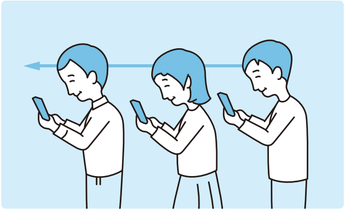
「ネット依存」は、アルコール、ニコチンなどの物質の過剰摂取による依存症とは質的に異なります。しかし、自分の意思で、ネット使用が止められなくなり、日常生活に支障が生じてしまう、という点では似ています。そのため「誘惑に負けない心を育てれば、つまり意志を強くすれば、依存は改善できる」と考えがちです。しかし、そのような発想では、いっこうに依存は改善されません。実は、不適切なネット使用にも、第三者から観察することができる「本人も気づいていない理由」があるのです。それを科学的に調べ、整理し、その人に合った改善方法を見つけていきます。この方法は、専門的には行動分析学と呼ばれ、一般的には認知・行動療法の基礎の1つとして知られています。

KEY WORDS

行動分析学
行動分析学は、ヒトの諸活動を、環境と個体との相互作用（＝行動）から探求し、行動に関する因果法則を明らかにしていこうとする科学のことです。

認知・行動療法
クライエントの不適応な状態に関連する行動・情緒・認知的な問題を標的とし、行動科学の諸理論や行動変容の諸技法を用いて、それを軽減するとともに、適応的な反応を生起させていく治療法のことです。

「フェイスブックの心理実験」



2014年に発表された69万人のフェイスブックユーザーを対象とした心理実験の結果は大きな波紋をよびました。フェイスブックのニュースフィードの表示から、ポジティブな表現を含む項目を減らすよう操作したところ、ポジティブな投稿が減り、ネガティブな投稿が増えるというように、ユーザーの感情が伝染していくことがわかったのです。ただし注目を集めたのは、直接対面することなくSNSにより感情の伝染が生じるという結果のインパクトではなく、無断で実験台にされたというユーザーの怒りが噴出した点です。フェイスブックの利用規約でユーザーはデータの使用に同意しており、民間企業が実施したため研究倫理審査委員会の審査対象とはならなかったという擁護論はありますが、フェイスブック社は実験が不安をかきたてたことについて謝罪をしています。

KEY WORDS

感情伝染
ある人が感じているポジティブまたはネガティブな感情を周りの人も同じように感じるようになる現象のこと。主に直接やりとりする中で、表情や身振りといったノンバーバルな表現を通じて伝わるとされています。

研究倫理審査委員会
研究を行う際に、実験や調査の対象となる人や動物に与えるリスクを第三者がチェックするための機関。大学での心理学の研究は、倫理面で問題がないか、必ず審査を受けます。

Graduate School

さらなる専門性を究める
同志社大学大学院 心理学研究科。

本学では、1961年に文学研究科心理学専攻修士課程、
1964年に同博士課程が設置され、2009年度から心理学研究科となりました。
さらに、2011年度からは前期課程に臨床心理学コースも設置しました。
長きにわたり、サイエンスとしての心理学を基礎とした高度な知識・技術の
総合的学習と研究能力の涵養を目指し、基礎研究領域と臨床実践領域の
いずれかに偏ることのない総合的な教育研究を展開しています。

国際性豊かで実践的な教育プログラムを通じ、現代社会のニーズに応じられる専門家を育成

現在、こころの問題は社会において広がりを見せ、病院だけでなく、企業、教育、司法の現場などで重視されています。本研究科では、実験心理学的アプローチをベースに、産学官の領域を超えた研究や実践活動を積極的に企画・実施できる人物を育成するために、斬新な教育プログラムを展開しています。また、同志社大学のスケールを活かして海外の研究者と活発な交流が行われています。心理学の専門家として科学の発展に貢献するために、自律的に研究を展開させる意欲と能力を備えた学生を求めています。

心理学研究科

前期課程

心理学研究科心理学専攻博士課程（前期）は、心理学について実証的立場からの高度な知識の蓄積を目的とするが、さらに基礎的実験技術の習得、また応用面での臨床的技術の習得を行い、本専攻で培った知識・研究方法を背景に、教育・司法・行政等の職種を中心とした健全なこころの成長に貢献できる人物を育成し、基礎的な問題から応用的諸問題にまで対応できる問題解決能力を持った研究者及び教育者の養成を目的とする。

心理学コース

本コースでは、心理学について科学的立場からの高度な知識の蓄積を目的とするが、さらに、基礎的実験技術の習得、プロジェクト企画・遂行能力の育成を行い、本専攻で培った知識・研究方法を背景に、教育・司法・行政及び各種企業での基礎的な問題から応用的な諸問題まで対応できる問題発見能力、問題解決能力を持った人材を養成することを目的とする。

求める力：心理学に関する幅広い基礎知識／研究運用能力（研究構想力、実践力、分析・考察力）

臨床心理学コース

財団法人 日本臨床心理士資格認定協会　第1種指定校

本コースでは臨床心理学の知識の充実と、臨床における実践的な技能の習得を目指している。臨床心理学における方法論は多様であるが、本コースでは特に科学的視点に立ち実証的なアプローチを行うことを重視している。このような教育の姿勢を背景に、心理臨床センターにおける実践、学外研修における実践などを通して、研究能力を持ち実社会に貢献できる人材を育成する。

求める力：心理学に関する幅広い基礎知識／研究運用能力（サイエンティスト）／臨床実践力（プラクティショナー）

後期課程

心理学研究科心理学専攻博士課程（後期）は、前期課程において習得した心理学研究の知識・技術を基盤として、心理学における高度な専門的知識と研究能力を身につけた研究者を養成し、大学における専門分野の研究にとどまらず、産官学分野にまたがって基礎的な問題から応用的諸問題にまで対応できる問題発見能力とそれに対する解決能力を持った研究者及び教育者を養成することを目的とする。

各コースの担当教員

詳しくはP.17–18

心理学コース

青山 謙二郎（教授）
畑 敏道（教授）
神山 貴弥（教授）
中谷内 一也（教授）
鈴木 直人（教授）
竹原 卓真（教授）
田中 あゆみ（教授）
内山 伊知郎（教授）
余語 真夫（教授）
及川 昌典（准教授）

臨床心理学コース

石川 信一（教授）
武藤 崇（教授）
興津 真理子（教授）
佐藤 豪（教授）
杉若 弘子（教授）

学内・学外実習

学内実習

臨床心理学コースでは、「同志社大学心理臨床センター」を活用し、学内実習を行っています。学内実習では、指導相談員（臨床心理学コースの大学教員）、専任の相談員といった臨床心理士の有資格者とともに実践を学びながら、伝統の少人数教育を継承したきめ細やかな教育が受けられます。

実習例　ケース陪席・担当／プログラム実習／アセスメント実習

学外実習

学外実習には、医療領域、教育領域、福祉領域の施設があります。実習希望者は複数の施設について学外実習を行うことができます。

医療領域
- 医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・さぅと
- 医療法人栄仁会 宇治おうばく病院 リカバリーセンターきらり
- 医療法人栄仁会 宇治おうばく病院 臨床心理室

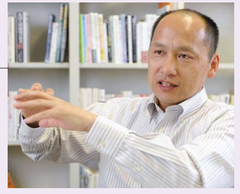
教育領域
- 同志社中学校
- 同志社国際中学校
- 京田辺市教育委員会 適応指導教室

福祉領域
- 児童養護施設 京都大和の家
- その他情緒障害児短期治療施設や児童自立支援施設

Pick up Research

1 リスクを正確に認識する力が緊急時にあなたの生命を救う

心理学部心理学科　中谷内 一也教授



人間は異常なことが起こっても、どこかに正常な部分を見つけて普段通りだと思い込もうとする心理が働きます。それが大きく表れたのが東日本大震災。津波の危険性を知りながらも、なかなか逃げだせない人がたくさんいました。リスク認知を行動につなげるにはどうすればよいのか。認知のメカニズムを活かした研究で誰もが安心して暮らせる社会を目指します。

2 子どもたちの明るい笑顔のために不安を抱えた心を支える

心理学部心理学科　石川 信一教授

子どもは必要以上に不安を抱えてしまうことがあります。そんな子どもたちを支援するのが、認知行動療法の理論に基づいた不安改善プログラム「いっちゃが教室」です。「いっちゃが」とは、宮崎県の方言で「気にしなくてもいいよ」という意味。不安の正体を自覚してもらい、子どもたち自身の気づきにつなげることで、多くの子どもが不安を克服しています。

各種研究支援制度

補助金制度

同志社大学大学院心理学研究科では、研究科生の教育・研究に対してさまざまな角度からこれを助成し、よりよい教育を受け、研究に専念できるよう環境の充実を図っています。

補助金例（2017年度現在）※事前の周知なく変更する可能性があります。
- 国内学会への参加にかかる交通費　・学外共同研究にかかる交通費・宿泊費　・各種コピーにかかる費用
- 刊行物の閲覧にかかる費用　・論文の抜刷にかかる印刷費　・海外学会への参加にかかる交通費
- 英文校閲費用　・論文投稿料

奨学金制度

同志社大学では、誰もが安心して学業に専念できるよう、同志社大学独自の奨学金を豊富に設けており、日本学生支援機構奨学金や民間・地方公共団体奨学金とあわせて総合的なサポートを行っています。

ポイント
- 給付制・貸与制（無利子）の奨学金が充実　・採用実績・採用人数が多い　・種類が豊富　・複数の奨学金を受給可能

日本学術振興会（学振）における特別研究員制度について

特別研究員制度は、優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度です。研究者としての道を歩むために必要なキャリア形成として、論文等の発表を重ね、博士学位を取得することはもとより、博士後期課程在学中に日本学術振興会特別研究員に採用されることが、研究職のポジションをステップアップさせる上で大きなアドバンテージになります。特別研究員に採用されると、研究活動に専念できるよう奨励金が支給されるだけでなく、研究費が補助されることから、博士学位論文に必要なリサーチワークが大きく前進します。本学においても、毎年多くの大学院生が応募し、これに採用されています。

大学院生メッセージ

Graduate student Message

基礎研究と応用実践の
両方に目を向けて、
こころを究める道へ。

同志社だからできる研究で1人でも多くの人の未来を救いたい。

スクールカウンセラーになりたくて、心理学の道を志しました。高校時代、友人が抑うつ状態であることを相談できずに不登校になり、それを問題に感じていたからです。抑うつ感の低減はよく研究されていますが、同志社大学では抑うつの予防を研究し、これを学ぶことができます。相談しやすい環境の整備はもとより、相談せずに済む方法があればそれに越したことはありません。1人でも多くの人の力になるために、今後も目標に向かって進み続けます。

博士課程(前期) 臨床心理学コース 2年次生
阿部 望さん

子どもたちを笑顔にする研究者としての道を歩み続ける。

コミュニケーションが苦手な子どもを社会に適応させるための施策を実施し、効果を検討する研究をしています。例えば小学校で「人の話を聞く」ことに特化した1時間の授業などのソーシャルスキルを学ぶプログラムを実施します。発達障害を抱える子どもに対してできる支援には、さまざまな形があります。私は現場にも赴き現状を把握しながら、研究者として子どもたちの笑顔に貢献していきたいと思っています。

博士課程(後期) 2年次生
中西 陽さん

他の大学院にはない充実した設備で興味を追求する毎日。

学部の卒業研究時に計画を立て実験を進めることに興味を持ち、進学を決めました。同志社心理学研究科は、整った設備環境が魅力です。学生一人ひとりに研究スペースとパソコンが割り当てられていることや実験室の数でも、他の大学院と比べて充実していることがわかります。アイトラッカーという視線を追う装置は、実際に「動機づけ」の研究で利用しています。研究への支援が整った環境で、日々研究に取り組めます。

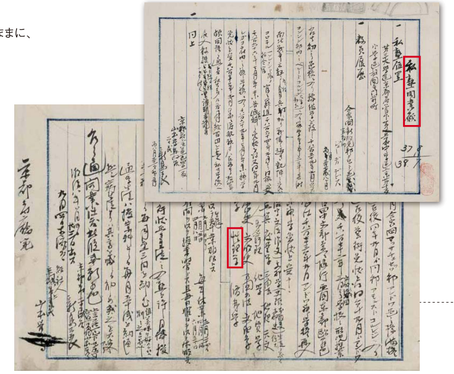
博士課程(前期) 心理学コース 2年次生
柿沼 亨祐さん

伝統と革新

History

90年の伝統を受け継ぎ進化する、同志社心理の歩み。

2009年4月、同志社大学12番目の学部として開設された心理学部。
本学と心理学との関わりは古く、
1927年より本格的な実験心理学の
研究・教育を進めてきました。
今後も長年の伝統と精神はそのままに、
次代を見据え、新しい分野や
国際化にも対応していきます。



2014 「こころの科学研究センター」を設置

2013 「実証に基づく心理トリートメント研究センター」を設置
※2015年度に「実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター」に名称変更

2012 心理学研究科・心理学専攻臨床心理学コースが、財団法人 日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院に認定

2011 心理学研究科では、「心理学コース」「臨床心理学コース」の2コース制がスタート

2010 今出川校地・継志館に「心理臨床センター」を開設

2009 心理学部・心理学研究科を開設
これまでの教育目的の根幹である「こころと行動の基本的性質と法則性を実験や調査などを通して実証していく」ことと、「こころと行動に関する臨床・応用研究と実践活動に取り組む」という2つの目的を不可欠な両輪として捉え、2009年に世界水準の新たなる学部・研究科の開設を実現しました。次代を見据え、世界の潮流に応えた、良心を手腕に運用する人材の輩出を目指しています。

2008 「赤ちゃん学研究センター」を設置。
※現在は研究開発推進機構の組織として活動中

2007 文部科学省大学院教育改革支援プログラムに採択される。

2005 文学部の改組により心理学科を設置。また「こころの生涯発達研究センター」「感情・ストレス・健康研究センター」を設置。

1986 京田辺校地開校に伴い、京田辺心理学実験室を設置。

1967 文学部文化学科において教育学専攻と心理学専攻に分離。

1964 大学院文学研究科に心理学専攻博士課程を設置。

1961 大学院文学研究科に心理学専攻修士課程を設置。

1948 新制大学の発足とともに、文学部文化学科教育学および心理学専攻として再出発。遠藤汪吉、松山義則の各教授が中心となり、新時代の心理学研究・教育の基盤整備を進める。

1927 実験心理学の歴史と伝統は、ここから始まった
1927年に文学部哲学科心理学専攻を設置。以来、実験心理学研究を究めていく本学の心理学実験室の伝統が刻まれてきたのです。初代教授の1人、本宮弥兵衛は東京慈恵会医院医学専門学校で医学を学び、同志社神学校で神学を学んだ後、オベリン大学、イエール大学で実験心理学を修め、本学における心理学実験室の礎を築きました。

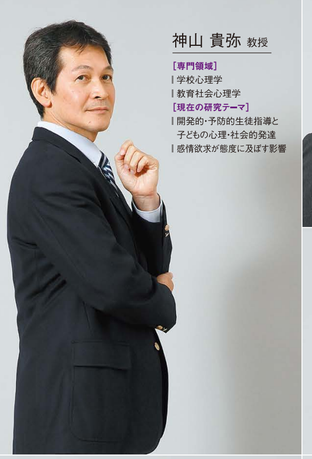
1875 新島襄によって開講された同志社英学校の科目「性理学(心理学)」
本学における心理学の研究・教育の起源は、同志社大学の前身である官許同志社英学校まで遡ります。新島襄が1875年に京都府庁に提出した「私塾開業願稿」に開講科目の1つとして「性理学(心理学)」が記されています。日本の現代心理学の礎を築いたとされる東京帝国大学の初代教授となった元良勇次郎と、京都帝国大学の初代教授となった松本亦太郎は、ともに同志社英学校草創期の学生でした。

教員紹介

Professors

あなたの知的好奇心に応える、21人の心理学エキスパート。

それぞれの［専門領域］［現在の研究テーマ］を紹介。
心理学のエキスパートである21名の教員とともに、
心理学の世界へ踏み出しましょう!



神山 貴弥 教授

【専門領域】
学校心理学
教育社会心理学
【現在の研究テーマ】
開発的・予防的生徒指導と子どもの心理・社会的発達
感情欲求が態度に及ぼす影響

畑 敏道 教授

【専門領域】
生理心理学
行動学的神経科学
【現在の研究テーマ】
時間評価や記憶の脳内過程に関する研究

菊谷 まり子 助教

【専門領域】
認知心理学
比較文化心理学
【現在の研究テーマ】
表情や音声からの感情認知に関する研究
顔の記憶、魅力判断に関する研究

鈴木 直人 教授

【専門領域】
感情心理学
環境心理学
精神生理学
【現在の研究テーマ】
自己を取り巻く人及び環境刺激が自己に与える影響の検討

青山 謙二郎 教授

【専門領域】
学習心理学
行動分析学
食行動の心理学
【現在の研究テーマ】
食べる行動の実験心理学的研究
衝動的行動の行動分析学的研究
動機づけ行動のセッション内減少

田中 あゆみ 教授

【専門領域】
ヒューマン・モティベーション
【現在の研究テーマ】
達成目標の効果に関する研究
自律性・自己決定とその支援に関する研究

藤岡 勲 准教授

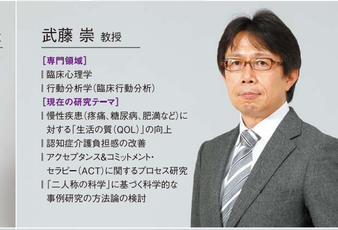
【専門領域】
臨床心理学
多文化間カウンセリング
【現在の研究テーマ】
多様な文化的背景を持つ人々に対する心理援助
心理援助におけるプロセス

石川 信一 教授

【専門領域】
臨床児童心理学
【現在の研究テーマ】
子どもを対象とした認知行動療法
学校ベースのメンタルヘルス予防プログラム
児童青年期における異常心理学的研究

白井 真理子 助教

【専門領域】
感情心理学
【現在の研究テーマ】
悲しみを中心とした感情研究
「泣き」の機能的側面



武藤 崇 教授

【専門領域】
臨床心理学
行動分析学(臨床行動分析)
【現在の研究テーマ】
慢性疾患(疼痛、糖尿病、肥満など)に対する「生活の質(QOL)」の向上
認知症介護負担感の改善
アクセプタンス&コミットメント・セラピー(ACT)に関するプロセス研究
「二人称の科学」に基づく科学的な事例研究の方法論の検討

杉若 弘子 教授

【専門領域】
臨床心理学
パーソナリティ心理学
【現在の研究テーマ】
個人と状況に応じたセルフ・コントロール
ソーシャル・サポートの授受とメンタルヘルス
心理療法に対する期待と好み

及川 昌典 准教授

【専門領域】
社会心理学
【現在の研究テーマ】
意識と無意識
自己と他者
自由意志

伴 碧 助教

【専門領域】
発達心理学
【現在の研究テーマ】
乳幼児の想像力の発達
Human-Robot interaction

竹原 卓真 教授

【専門領域】
認知心理学
複雑系心理学
【現在の研究テーマ】
複雑系や複雑ネットワークを通じた認知心理学的研究

中谷内 一也 教授

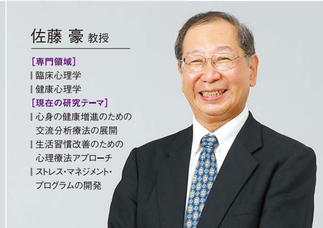
【専門領域】
社会心理学
リスク心理学
【現在の研究テーマ】
災害や各種リスクに対する認識と行動

内山 伊知郎 教授

【専門領域】
発達心理学
交通心理学
【現在の研究テーマ】
乳幼児から高齢期までの発達心理学
交通安全の発達心理学

興津 真理子 教授

【専門領域】
家族心理学
臨床心理学
【現在の研究テーマ】
家族造形法による事例検討がもたらす効果について
グリーフケアにおける家族へのアプローチ



佐藤 豪 教授

【専門領域】
臨床心理学
健康心理学
【現在の研究テーマ】
心身の健康増進のための交流分析療法の展開
生活習慣改善のための心理療法アプローチ
ストレス・マネジメント・プログラムの開発

余語 真夫 教授

【専門領域】
臨床社会心理学
アフェクティブ・サイエンス(感情科学)
【現在の研究テーマ】
感情の生成と変容における言葉の役割の実験心理学研究

竹島 康博 助教

【専門領域】
知覚心理学
認知心理学
【現在の研究テーマ】
情動刺激に対する特異的な感覚情報処理特性の検討

木村 年晶 特任助手

【専門領域】
高齢者心理学
交通心理学
【現在の研究テーマ】
高齢者の感情制御と認知機能との関連

施設・設備

Facilities

先進の
実験実習施設を備えた
充実の環境。

京田辺キャンパス・知証館南館に
実験施設が整備され、
さらに香柏館にも研究室や
プロジェクト演習室が設置されました。
同志社心理ならではの
実験的手法を重視した教育と研究を、
発展させていく環境と設備が整っています。

凍結ミクロトーム
脳切片の標本を作製するための装置です。

電気音響シールドルーム
脳の働きなど微細な生体現象を測定する部屋です。

3次元顔画像撮影解析装置(VECTRA)
人間の顔を3次元で撮影することができ、あらゆる方向から解析することができます。

一方向気流式飼育システム
最大160匹のラットが飼育可能な自動給水・洗浄ラックを導入しています。

フリーラウンジ
学生が自由に学習できる部屋です。

大学院共同研究室
大学院生用に机やパソコンを整備した部屋です。

プロジェクト演習室
レポート作成などを主体的に行うための拠点として利用します。

ELISA分析機
ストレスホルモンなどの物質を分析します。

高速液体クロマトグラフィ
脳内から回収した神経伝達物質などを分析します。

モニター室
他の部屋の様子を映像でモニタリングします。

環境刺激生体反応モニタリングシステム
実験参加者を取り囲むさまざまな環境を作り出すことができます。

手術室
脳の外科的処置や薬理学的処置を行います。

PCコーナー
全学生が本学のパソコンおよびネットワークを利用可能です。

スキナー箱
ラットにレバー押しの学習をさせる装置です。

行動観察室
主に実習授業で面接の練習や行動観察に使います。

グループセラピー室
グループを対象とした心理療法を行う部屋です。

視線計測装置
認知行動の解析を行うための装置です。

誌上座談会

Talk Session

理論と実践で身につく学び。

同志社心理では、基礎知識と実験を同時に学んでいきます。学生たちは理論と実践の両輪で心理学をものにし、どんな道でもどんなときにも活かしてきました。教育現場を専門とする石川教授と、その指導の下で育った石川ゼミの3人に、同志社心理で学べる心理学について語り合っていただきました。

（学生の学年は取材時のものです）

初めに、心理学部を選んだ理由と、入ってみて感じたことがあればお聞かせください。

村山さん：同志社国際高校出身なので大学は同志社と決めていましたが、説明会での錯視の授業で心理学を実体験として感じられたことが面白かったため、心理学部に決めました。

小林さん：私はいじめに対する問題意識からです。小学校の友達が別の中学で不登校になっているという話を聞いて、なぜそういった問題が起こってしまうのだろう、と関心を持ちました。

上原さん：人の話を聞くことと子どもが好きだったことから、スクールカウンセラーを目指していました。臨床心理士の資格を取れる大学の中でも、学部として独立していてカリキュラムがしっかりしていたことが、同志社を選んだ理由です。

石川先生：カウンセラーになりたいという動機で入学してくる学生は多いですね。心理学は実験も親しみやすく、よく関心を持たれますが、入ってからさまざまな形の心理学に触れてみて、興味の方向性が変わっていくこともあります。

上原さん：そうですね。人対人の研究ばかりを想像していましたが、統計など数字の上での話が多かったのは意外でした。

村山さん：でも、心という曖昧なものを扱うためには客観的な視点として大切なんですよね。心を読み解く手法だけでなく、犯罪や脳神経などアプローチできる分野もさまざまだったことは、入ってから感じた良いギャップです。

小林さん：私は、1年次から動物を使った実験に携われることに驚きました。最初は座学ばかりだと思っていたので、基礎と応用を同時に学んでいけるのは良かったです。本で読むより理解しやすく記憶に残りやすいと実感しました。

石川先生：最初から実践で学べるのは同志社心理の大きな魅力です。初めはとっつきにくいと思える統計も実際にデータ入力や解析をやってみることでわかるようになったのではないでしょうか。

大学ではどのような研究をされていましたか。

上原さん：私は大学生を対象とし、オンラインでカウンセリングができるかという実験を行いました。認知行動療法をスマートフォンやパソコンで実施できるようなゲームツールを作成しました。

石川先生：オンラインは最近の流行りでもあります。プログラミングは大変でしたね。また、他の二人は同じ題材を扱っていますが、実践と調査というアプローチの仕方が異なる研究です。

小林さん：私の研究は中学生を対象とした「問題解決訓練」。友達との喧嘩など学校で問題に直面したときの行動をプログラムの中で学び、適応能力を上げて状況改善の支援をしていく、というものです。

村山さん：私は関係性を見る調査が主な研究で、中学生の友人関係に対する考え方が学校への適応に与える影響を調べました。

卒業後の進路を教えてください。また、どのように学びを活かしていきたいですか。

小林さん：私は地元の県庁に心理判定員として就職します。児童相談所などで、心理判定やカウンセリングなどの専門的な業務を行う仕事です。3・4年次に児童相談所で話を聞くなどのボランティアをしていて、学部での基礎知識が役に立ちました。今後はそこでの経験も活かせそうです。

村山さん：私は自分が前に立つより人を支える方が得意だったので、民間企業の事務職を志望しました。営業の方々をサポートできるよう、心理学を活かしてコミュニケーションをとっていきます。

石川先生：心を専門に扱う仕事や組織の中の人間関係など、心理学は色んな分野に応用できます。上原さんは就職活動でも活かせていたようですね。

上原さん：はい。グループディスカッションでは場を調整するのに心理学部での学びを思い出しました。観察法や面接法で学んだ点を活かしつつ、面接官の話を十分に理解するように「聞くということ」を意識しました。

最後に高校生へメッセージをお願いします。

石川先生：興味を持てることが一番重要。心理学を学ぶ目的がはっきりしている学生が多いので、意志をもって来てくれたら楽しいと思います。

上原さん：テレビなどで見る心理テストのイメージが強いと思いますが、本当に多様な心理学が学べます。今は明確でなくても、少しでも気になることがあったら入ってからきっと目標を見つけられるので、来てみてください。

村山さん：少人数で仲良くなれるアットホームな空間で、私自身楽しく過ごせたのでおすすめです。

小林さん：将来は心理学をつきつめていく専門職に進むことも、対人スキルとして社会で活かして企業等で活躍することもできます。高校では想像もできないような新鮮な学びを是非体験してほしいです。

— ありがとうございました。

READ MORE 〉〉 http://psych.doshisha.ac.jp/faculty/interview/#l_navi

卒業生 Interview

「伝えること」の大切さを学んだ。

人と話すのが好きで、多くのお客様と接するこの仕事を選びました。学部での学びで一番印象に残っているのは、自分の考えを相手が理解していると過度に思ってしまうという「透明性の錯覚」。仕事でもお客様に対して自分の思い込みで話さず、丁寧に伝えるように心がけています。そうすることで自分の接客に高評価をいただけるのがやりがいです。感謝の意も曖昧にせず言葉にすることで、スタッフ同士のやり取りも円滑になり、気持ちよく働ける環境づくりにも貢献できています。これからもお客様一人ひとりに合わせた接客で、満足していただけるように頑張っていきたいと思います。

京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社
京都タワーホテル 宿泊運営部 タワー宿泊課
寺内 絢香さん　2014年卒業

人とのつながりを力に変えて、色んな仕事に挑戦していく。

仕事で一番大切にしているのは、人との関わりです。きっかけは初めての担当で売り上げの低迷している店舗を持ったことでした。新入社員として自分に何ができるか考え、現場に足を運び、仲卸業者の方と連絡を密にとり、迅速に対応することを心がけました。その結果、信頼関係を築き、自社製品の売り上げを伸ばすことができたのです。現場の方々の協力に助けられる中で、人との関わり方の重要さを感じました。思えば心理学は人も対象にする学問。学生時代の経験を活かしてこれからも対人関係を見つめ続け、今は営業で高みを目指していきます。そして、いずれは人を導けるような立場になりたいです。

サントリーホールディングス株式会社
サントリー酒類株式会社 関東支店 広域課
長沼 優佳さん　2016年卒業

チーム医療に必要とされる臨床心理士になりたい。

臨床心理士として働いてみると、先生方に再三言われていた「自分の感情の動きを把握すること」が重要だと実感させられます。患者さんとの会話の中では、正しい判断をするために客観的な視点を常に意識しなければなりません。また、勤務先の病院はチーム医療が特徴で、1人の患者さんについてさまざまな分野の医師がそれぞれの立場からの意見を交換します。知識不足を感じることもありますが、同志社心理で学んだ基礎知識・研究法・臨床での実践が活きる場です。どんな治療にも必ず貢献できる仕事だと自負しています。チームの一員として認められ、求められる心理士になることが今の目標です。

医療法人財団 医道会 稲荷山武田病院
心療内科 臨床心理士
梅村 友輔さん　2012年卒業

READ MORE 〉〉 http://psych.doshisha.ac.jp/career/story/#l_navi

就職・進路

Career

多彩な分野への就職・進学が可能です。

学校教諭免許や認定心理士などの資格取得、
企業や公務員など幅広い業界への就職実績があります。
また、高度な知識と技術を学ぶ大学院への進学、
その専門技能を活かした心理家への道もあります。

取得できる免許・資格

- 小学校教諭1種※1
- 中学校教諭1種(社会)
- 高等学校教諭1種(公民)
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 博物館学芸員

※1 神戸親和女子大学通信教育学部（男女共学）との提携による

関連資格

- 公認心理師※1
- 臨床心理士※2
- 認定心理士
- 認定心理士(心理調査)

※1 詳細が決まり次第、受験資格に対応予定
※2 本学の心理学研究科(前期課程)臨床心理学コース修了者に受験資格が与えられます。
※ 詳しくはホームページでご確認ください。

幅広い業界で活躍できます

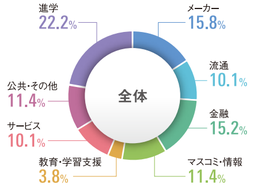
これまでの心理学科卒業生の実績を見ると、メーカー、金融、商社、サービス、情報・通信、公務員など幅広い分野への就職、大学院や海外の大学への進学などが挙げられます。業種では、製薬会社、医療関係会社、病院、教育・臨床分野、マスコミ、企業のリサーチ部門、児童相談所、家庭裁判所、教育産業など、さまざまな分野で活躍しています。

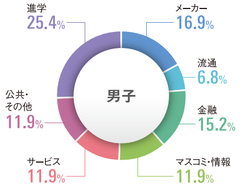
2016年度 主な就職・進学実績

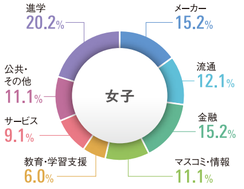
［就職］
- 学校法人 同志社
- 公立大学法人 大阪市立大学
- 学校法人 関西医科大学
- 国立大学法人 滋賀医科大学
- みずほフィナンシャルグループ
- りそなグループ
- 株式会社 ゆうちょ銀行
- 株式会社 京都銀行
- 株式会社 三菱東京UFJ銀行
- 第一生命保険 株式会社
- 日本銀行
- 野村證券 株式会社
- 国家公務員(一般職)
- 大阪府
- 医療法人 東道医院
- 京都市
- 京都府
- 西日本旅客鉄道 株式会社
- 中日本高速道路 株式会社
- 日本航空 株式会社
- 法務省専門職員(法務教官)
- トッパン・フォームズ 株式会社
- 株式会社 ジェイアール西日本ホテル開発 ホテルグランヴィア京都
- 京阪ホールディングス 株式会社
- 積和不動産関西 株式会社
- NEC:ソリューションイノベータ 株式会社
- 株式会社 NTTドコモ
- 株式会社 ケイ・オプティコム
- 株式会社 日本総合研究所
- 関西テレビ放送 株式会社
- アサヒビール 株式会社
- アース製薬 株式会社
- パナソニック 株式会社
- ベルてる 株式会社
- 株式会社 GSユアサ
- 株式会社 バンダイ
- 株式会社 ヤクルト本社
- 株式会社 村田製作所
- 株式会社 豊田自動織機
- 住友電気工業 株式会社
- 日立化成 株式会社
- イオンリテール 株式会社
- 株式会社 ニトリ
- 株式会社 ホームロジスティクス
- 三菱商事 株式会社

［進学先］
- 大阪大学大学院 人間科学研究科
- 京都大学大学院 人間・環境学研究科
- 法政大学大学院 人文科学研究科 心理学専攻
- 関西大学 臨床心理専門職大学院
- 大阪市立大学 生活科学研究科
- 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科
- 東京大学大学院 教育学研究科
- 同志社大学大学院 心理学研究科
- 広島大学大学院 教育学研究科
- 九州大学大学院人間環境学府 実践臨床心理学専攻
- 筑波大学大学院 人間総合科学研究科
- 鳥取大学大学院 医学研究科
- 早稲田大学大学院 人間科学研究科　（順不同）

2016年度 卒業生の進路







学部概要・入学試験情報

学部概要
［学部名称］心理学部
［ 学　位 ］学士(心理学)
［学科構成］心理学科(一学科制)
［入学定員］158名
［設置場所］京田辺校地：京都府京田辺市多々羅都谷1-3

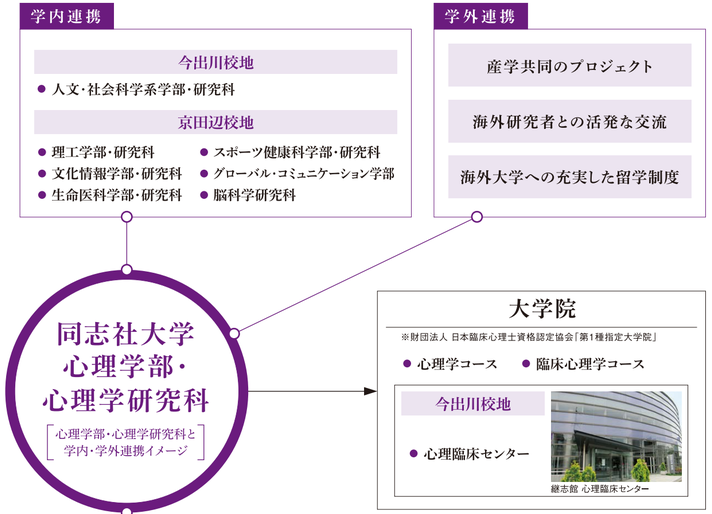
入学試験情報
- 一般選抜入学試験(全学部文系、全学部理系、学部個別)
- 大学入試センター試験利用入学試験
- 自己推薦入学試験
- 第3年次転入学・編入学試験
- 外国人留学生入学試験

学内・学外連携

Collaboration

豊かな交流が
総合的な学びとなります。

京田辺校地を主たるキャンパスとして展開することにより、
2008年に開設した生命医科学部・研究科やスポーツ健康科学部・研究科、
また、文化情報学部、グローバル・コミュニケーション学部、
理工学部・研究科といった学部群と連携した総合的な学びが可能になりました。
心理学部は、こころを扱う領域として社会に貢献するため、
産業界や教育・医療機関等と連携した実践的な教育・研究を目指します。



研究センター

こころの科学研究センター
Research Center for Psychological Science Doshisha University

「こころの科学」の視点から、研究活動と実践的活動を行います。

当センターは、いじめや体罰などの教育場面での問題や、女性の子育ての難しさの問題、心の病や発達障害を抱える人々の増加の問題など、心理学が中心となる研究領域について、脳科学、行動科学的な基礎研究を実施するセンターです。「こころの科学」をキーワードに3つの研究部門を設置し、それぞれで研究プロジェクトを実施。生涯教育・発達の視点から、子どもの発達支援、教育支援、高齢者支援を視野に入れた実践的研究へ展開することを目的とします。

「ビジュアル・クリフ（視覚的断崖）」の研究

実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター
Center for Wing of Empirically Supported Treatments(WEST)

実証に基づく心理療法の開発・普及・研究を目的とした、西日本を中心とした研究者のネットワーク

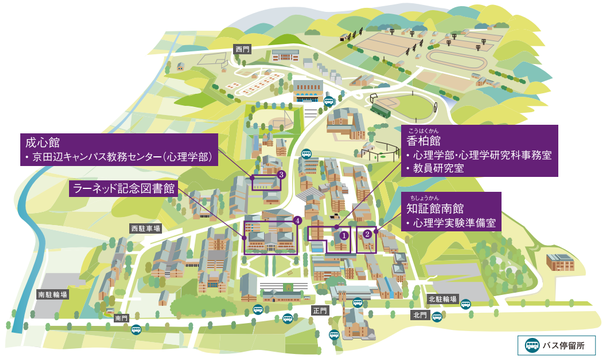
近年、日本においても「実証に基づく心理・社会的トリートメント」(Empirically Supported Treatments; EST)の開発やその普及が重要視されるようになってきています。本センターは日本でのより本格的な「実証に基づく心理・社会的トリートメント」の開発・普及を推進するため、特に西日本における中心的な役割を担うことを目的としています。

WESTシンポジウム

キャンパスマップ（京田辺キャンパス）

広大なキャンパスに、最先端の教育設備を導入。

1986年に開設された京田辺キャンパス。約9,000人が学生生活を送る総面積79万㎡の広大な敷地には、
マルチメディアライブラリを備えたラーネッド記念図書館をはじめ、最先端の実験設備・機器がそろう各種実験棟や、
同志社ローム記念館、情報メディア館などの情報教育設備も整えられています。



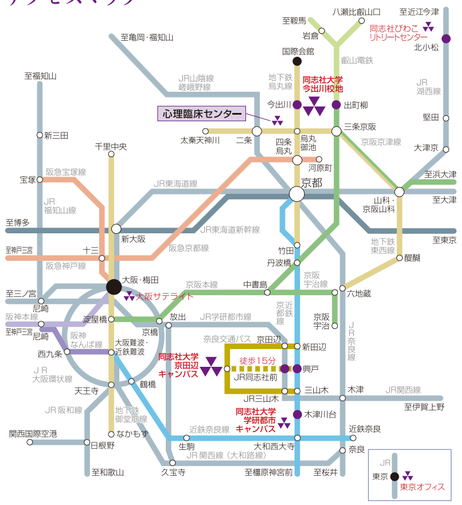
❶ 香柏館（こうはくかん）
・心理学部・心理学研究科事務室
・教員研究室

❷ 知証館南館（ちしょうかん）
・心理学実験準備室

❸ 成心館
・京田辺キャンパス教務センター（心理学部）

❹ ラーネッド記念図書館

アクセスマップ



京田辺校地
- 近鉄「興戸」駅から徒歩15分
- 近鉄「新田辺」駅からバスで8分
- 近鉄「三山木」駅からバスで5分
- JR「同志社前」駅から徒歩10分

今出川校地
- 地下鉄「今出川」駅から徒歩1分
- 京阪「出町柳」駅から徒歩15分

学研都市キャンパス
- 近鉄「木津川台」駅から徒歩13分

同志社大学 心理学部 シンボルマークについて

同志社の象徴であるワイルドローヴァー号と、心理学（psychology）を表すギリシャ文字のΨ（プサイ）を組み合わせて図案化しました。古典的なエンブレム風のデザインと創立年を示す「SINCE 1927」の文字は、同志社大学心理学部にふさわしい伝統と品位を表現しています。ワイルドローヴァー号の帆を掲げ、新天地へ渡った新島襄の志と探求心が今に生きていることを表す、堂々としたイメージのマークです。

同志社大学 心理学部

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
TEL：0774-65-8220　FAX：0774-65-8223
E-mail：jt-snrjm@mail.doshisha.ac.jp

さらに詳しく知りたい人は

同志社大学 心理学部ホームページ
http://psych.doshisha.ac.jp/

日英サイト開設

Point 1
パンフレットには収まりきらなかった
インタビュー記事を掲載！

Point 2
イベントなど、学部に関する
最新情報を続々配信中！

Point 3
「心理学部生の1日」など、
学生たちのリアルライフも公開！